

## 疾患特異的 iPS 細胞データシート

※選択項目は、□を■としてください。

※オプションの項目は、該当する付随情報がない場合や該当検査未実施の場合であっても、寄託の受入は

可能という項目です。

※本データ・シートの内容に変更・追加をすることが適切と判断した場合には、変更・追加版を速やかにご

連絡頂ければ幸いです。

【理研記載欄】 細胞番号: \_\_\_\_\_

●ホームページに掲載する特性情報です。ご記載をお願い致します。

例:HPS0061 59M8 疾患特異的 iPS 細胞株。網膜色素変性患者の皮膚線維芽細胞にレトロウイルスベクターにより 4 因子 (Oct3/4, Sox2, Klf4, c-Myc) を導入して樹立。

特性(日本語):

特性(英語):

●寄託者

所属機関名:

研究責任者名:

●細胞名:

(これとは別に理研 BRC 細胞番号を付けますことをご了承ください。)

別名があればご記入ください:

●疾患名

日本語名称:

英語名称:

●確定診断

未

済

方法:(原因遺伝子の変異情報、検出方法をできるだけ詳細に記述願います。)

●年齢:

(小児疾患等で、科学的に月単位の記載が適切と思われる際には、月単位での記載をお願い致します。)

●性別:

●感染症検査(オプション)

1. HIV

不明

未実施

実施

陰性

陽性

検査方法:

2. HTLV-I

不明

未実施

実施

陰性

陽性

検査方法:

3. HBV

不明

未実施

実施

陰性

陽性

検査方法:

4. HCV

不明

未実施

実施

陰性

陽性

検査方法:

5. その他の感染症 (注意すべき感染症が判明している場合は記載願います)

●人種(オプション)

日本人(先祖代々の日本人と思われる)

日本人ではない

不明

## ● iPS 細胞樹立に用いた組織又は細胞:

 他機関から入手した細胞を用いて樹立した

入手先(細胞バンク機関名等):

細胞名:

 独自に入手した細胞を用いて樹立した

(由来細胞を記載して下さい。記載例:皮膚組織から培養した付着性細胞。末梢血中のT細胞。)

 その他(具体的な入手方法を記載して下さい)

## ● 樹立方法(使用した方法をできるだけ詳細に記載して下さい)

記載例1:レトロウイルスベクター(ベクターの詳細も記載願います)を使用。4因子(Oct3/4, Sox2, Klf4, c-Myc)を導入。

記載例2:センダイウイルスベクター(ベクターの詳細も記載願います)を使用。4因子(Oct3/4, Sox2, Klf4, c-Myc)を導入。

## ● 蛍光タンパク質(GFP, EGFP 等)の導入の有無

 導入なし 導入あり

導入した蛍光タンパク質の名称(GFP, EGFP 等を記載して下さい):

## ● 遺伝子組換え生物(遺伝子組換えウイルス)の産生の有無

 産生する 産生しない

「産生する」の場合は、「遺伝子組換え生物の寄託に関する情報提供」(書式 C-0105)の提出をお願いします(寄託申込書と一緒に提出して頂いた場合は不要です)。尚、樹立の際に非再生産型ウイルス(pseudotype virus)を使用された細胞は、「産生する」には該当しません事を申し添えます。

## ● 維持培養方法

(使用した培地、使用した添加物、使用した栄養細胞等々に関する情報をできるだけ詳細に記載して下さい。)

## 1. 基本培地

(市販品の場合、メーカー名及びカタログ番号も記載願います。High glucose、Low glucose、ピルビン酸含有タイプ、不含タイプ等の情報を得たいからです。独自培地の場合には、組成を詳細に記載願います。)

## 2. 血清

 使用しない 使用する

使用濃度:            %

製造元(オプション):

## 3. 添加物

 使用しない 使用する

添加物名及びその使用濃度:(複数ある場合には、すべて記載願います。)

## 4. 抗生物質(含抗真菌剤)

 使用しない 使用する

抗生物質名及びその使用濃度:(複数ある場合には、すべて記載願います。)

5. 培養温度:        ℃

6. CO<sub>2</sub>濃度:        %

## 7. 培養容器

(市販品をご利用と思いますが、メーカー名及びカタログ番号を記載願います。)

コーティングの有無:

 コーティングしない コーティングする

使用物名及び使用方法(濃度等):

## 8. Feeder Cell の使用

 使用しない 使用する

細胞名:

使用時の細胞密度(細胞数又はコンフルエンス率%):

使用前処理方法:

- Mitomycin C 処理: 濃度及び時間:
- X 線照射: 線量等の照射方法:
- その他(具体的方法を記載願います):

9. 継代方法

(細胞剥離の方法等を記載願います。用いる器具、酵素等のメーカー名及びカタログ番号も記載願います。酵素使用の場合は使用濃度も記載願います。)

10. パッセージの際の細胞播種時の細胞密度

(厳密な数字での表記でなくても結構です。播種時の操作方法を記載願います。)

11. 継代頻度

(おおよその頻度、どのような状態になったら継代するか等を記載願います。)

12. その他、維持培養方法に関する特記事項があれば記載願います。

●凍結保存方法

ガラス化法

使用凍結保存液(市販品の名称及びカタログ番号又は詳細な成分):

緩慢冷却法

使用凍結保存液(市販品の名称及びカタログ番号又は詳細な成分):

プログラム・フリーザーの使用

使用しない(簡便法)

使用する: 設定:

その他

使用凍結保存液(市販品の名称及びカタログ番号又は詳細な成分):

具体的な方法:

●継代数:

(寄託細胞の継代数を記載して下さい。PDLを算出しておりましたら、PDLを教えてください。)

●維持培養中のコロニー形態

写真(デジタル情報)を別途送付願います。

- 確認済の未分化マーカーを明示してください。  
(最低1項目が確認されていることを寄託条件と致します。記載のないマーカーについては、未実施状態と判断させていただきます。)

- Oct3/4  
解析方法:
- Nanog  
解析方法:
- SSEA-4  
解析方法:
- Tra-1-60  
解析方法:
- Tra-1-81  
解析方法:

可能であれば、上記に関するデジタル情報も送付願います。論文等で公表された後でも結構です。

- 染色体解析(オプション)

- 未実施
- 実施

(実施してありましたら、解析結果の詳細を記載して下さい。また、可能であれば、該当するデジタル情報も送付願います。論文等で公表された後でも結構です。)

- 胚様体形成実験(オプション)

- 未実施
- 実施

(実施してありましたら、解析結果の詳細を記載して下さい。また、可能であれば、該当するデジタル情報も送付願います。論文等で公表された後でも結構です。)

- テラトーマ形成実験(オプション)

- 未実施
- 実施

(実施してありましたら、解析結果の詳細を記載して下さい。また、可能であれば、該当するデジタル情報も送付願います。論文等で公表された後でも結構です。)

- in vitro 分化能解析(オプション)

- 未実施
- 実施

(実施してありましたら、解析結果の詳細を記載して下さい。また、可能であれば、該当するデジタル情報も送付願います。論文等で公表された後でも結構です。)

- マイコプラズマ汚染検査(オプション)

- 未実施
  - 実施
    - 陰性
    - 陽性
- 解析方法:

●細胞同定検査 (STR 多型解析) (オプション)

- 未実施
  - 注) 樹立に使用した元の細胞またはゲノム DNA の送付をお願い致します。  
一致するか否かを理研 BRC で解析し、ご連絡いたします。
- 実施
  - 注) 検査結果データの送付をお願い致します。

●クローニング (オプション)

- 未実施
- 実施
  - 方法 (Limiting dilution or FACS, ROCK inhibitor 使用等の情報):

●その他の特性情報 (オプション)

記載例: 樹立に用いた外来遺伝子の発現抑性を確認した。

●寄託細胞を用いて発表した論文をすべて記載願います。

(未発表の場合は、発表後にご連絡ください。また、寄託後に発表論文が増えた場合にも必ずご連絡ください。試料付随情報としてきわめて重要かつ有益です。)

以上